



かわごえ



民児協だより

[第83号]

令和3年6月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



花咲く蓮に明るい希望を託して (伊佐沼にて)

撮影者：藤崎 二三男

令和3年5月31日に予定していた川越市民児連総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の現状を鑑み、昨年同様代議員参加による開催を断念し、書面決議による総会開催となりました。

開催に向けた理事会では地区協議会会長である民児連理事に各地区代議員が委任した小規模開催を決定しました。ところが4月28日政府の「まん延防止等重点区域（5月11日終了）」に川越市も指定され、その終了期限が6月20日まで延長されました。それをうけ小規模開催も断念せざるを得ない結果となりました。

議決権行使書の集約の結果、令和2年度事業報告、決算報告、令和3年度事業計画、予算案は承認され、令和3年度活動が開始されました。各地区協議会も総

会決定に、基づき事業活動を進めてください。

コロナウイルス変異株もまん延状況にあり、活動も停滞しがちと思いますが焦らず今日まで築き上げてきた地域の皆さんとの信頼関係を大切に、活動の推進をはかってください。

7月に予定していた民児連全員研修会の開催も危ぶまれ、会員の皆さんとのコミュニケーションをはかる機会も持てない今日です。民生委員児童委員信条を踏まえ『支えあう住みよい社会地域から』の活動スローガンのもと、地区住民一人ひとりのニーズや悩みを受け止め、身近な相談支援者として地域福祉の向上に努めて行きましょう。

以上、令和3年度総会報告とします。

令和3年度 川越市民生委員児童委員協議会連合会

コロナウイルスまん延下
書面議決で三年度計画決定！

地域福祉の向上に努めよう

民児連副会長

藤崎 昇



川越市地区民児協活動状況に関するアンケート調査結果報告

川越市民児連広報部会は、本年度市内の地区民児協代表者への紙面および広報部会員によるアンケート調査（以下本調査と略）を実施しましたので、その結果の要点をまとめ掲載いたします。

定例会議について

①令和2年度（R2年4月～R3年3月）の定例会開催

令和2年度の年間開催状況は通常開催と工夫しての開催も含め本調査では約8割の開催となり、開催中止は約2割となっております。（図1参照）

また、月別の開催状況はグラフ1を参照下さい。

このグラフから分かるように令和2年4月～5月は5割以下の開催となりコロナ禍の影響が大きく反映されております。6月および令和3年1月～2月も開催を中止した地区民児協は3割以上発生しております。また、実際の定例会開催はコロナ感染防止のため各地区工夫をして開催しております。

その状況についての調査結果を次に記載します。

②定例会開催の判断

定例会開催判断は地区民児協独自の判断が多く、緊急事態宣言等の行政指示による判断も見られます。（図2参照）

③開催時の工夫

定例会開催時は広い会場確保、短時間開催、3密の防止、分割開催等の工夫で感染予防に努めております。（図3参照）

④開催中止時の委員相互情報交換等の工夫

民生委員・児童委員相互の情報交換の手段は電話・メール・ライン・文書他が使われておりますが、ウェブ会議等はまだまだ環境が整っていないようです。（図4参照）

計画した事業（地区民児協が関係している事業選択）

（図4参照）

本件は広報部会が意図したアンケートの趣旨が良く伝わらなかつたと思われる回答数が多く発生しました。計画した多くの事業が開催中止や延期となったことを調査したかったのですが説明不足のため、殆どの地区民児協は、多くの事業を計画していたと推定されるにもかかわらず、中止あるいは延期としたためにこの欄

への記載が、少なかったのではと推定されます。例えば集いや配食の行事にはほとんどの地区民児協が、何らかの関りを持って運営されているのではないのでしょうか。担当部会からの聞き取り調査では、かなりの地区民児協が関わっているようです。残念ながらコロナ禍で実施件数が、かなり減少したという報告でした。

自主グループ活動へ指示推進した活動工夫

3密を避け短時間、人数制限し、体操のみで歌は中止、大きな公園で体操等の工夫が見られました。

見守り活動

（表1参照）

「面談制限せざるを得ないコロナ影響下で地区民児協として指示推進した活動工夫はありますか」との質問にたいしては、本調査の回答数から判断すると、主として電話・書面の活用推進が多いようです。

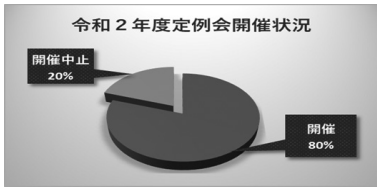


図1

グラフ1

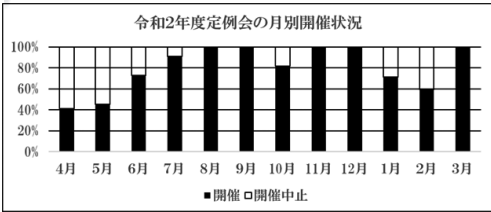


図2

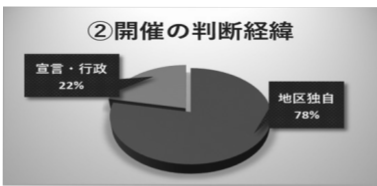


図3

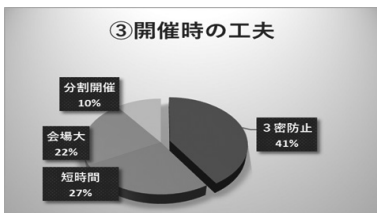


図4

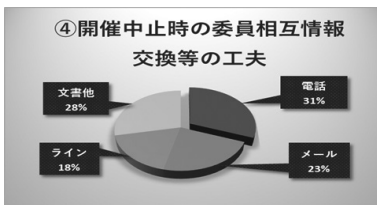


表1

	回答数
電話	16
書面	15
メール	1
直接面談	5

災害時避難行動要支援者に関する民生委員・児童委員活動について

①民生委員・児童委員へ推進依頼した活動

令和2年度災害時要支援者への地区民児協としての推進依頼活動は要支援者マップの作成・更新、ふれあいカード(独自)作成以外は具体的回答が殆ど見られませんでした。

②自治会や自主防災会等と民生委員・児童委員が連携するように働きかけをしていますか

(表2参照)

民生委員・児童委員は守秘義務の責任があり、自治会への災害時要支援者の情報提供が出来ず、また、考え方にも温度差があり、地区民児協として連携が困難な状況となっております。

表2

Table with 2 columns: 働きかけ有, 働きかけ無, 計 and 1 row: 回答数. Values: 6, 16, 22.

ため連携が必要不可欠な平時の活動計画を含め、実際の災害時への対応も難しくしていると考えられます。

自治会や自主防災会が川越市と守秘義務協定を結んで、要支援者情報の提供を平時に開示してもらうことが望ましいのですが、役員任期が単年度の自治会では困難な問題もあるようです。

しかしながら、各地区で独自に要支援者の調査を実施し、要支援者本人から支援協力者への情報提供を了解してもらえば、近隣の方々の協力を得ることが容易になるものと思われま

その他令和2年度地区民児協として実施した工夫・反省事項等

本調査については地区民児協の各位から様々な工夫や意見を頂いており、その全文をご紹介します。出来ませんが、その中の一部を抜粋して紹介します。

工夫事項

定例会は短時間・感染防止を第一として、時間差利用で2分割の開催とした事

例や、DVD2時間を2回(R3年3月、4月)に分けての研修した事例も報告されております。

戸別訪問のマニュアルを作成・電話や手紙による見守り。訪問が必要な方にはメモで月日時間を書いて、電話で相談、対面の活動は控え、各種配布書類はポスト投函とした工夫もありました。

ある地区民児協で独自に「民児協たより」を毎月発行「緊急事態宣言発出」の際は号外を発行した事例や「改訂災害に備える民生委員・児童委員活動ハンドブック」を購入し各委員に配布した地区もありました。

また、集会への参加が出来ないため、主任児童委員の説明を記載したチラシを作成して、小・中学校へ配布した事例も紹介されております。

「事例発表」を委員間の情報交換と新任委員の学習に利用したり、懇談会等を開催し質問疑問事例交換を実施している地区もありました。

コロナ感染拡大防止のために地区内で様々な工夫が見られるとともに、出来れば、ある程度の指針等を理事会から提示して頂ければ助かるとの声もありました。

令和2年の反省事項は新任の民生委員・児童委員へのサポートや育成・研修が不十分であり、また委員同士のコミュニケーションが不足しているとしている地区が多く見られました。

コロナ禍でやむを得ない状況ではあるものの、今後一日も早く適切なフォローが出来ることを期待したいと思います。また、広報部会自体も令和2年度はコロナ禍のため編集会議もままならず、各種行事予定の中止や延期のため「民児協だより」を合併号として発行せざるを得ない状況となり力不足を反省しております。

尚、本調査に関しての地区民児協各位からのご協力に感謝し、回答頂いた貴重な情報全体は今後別の形で整理し、ご紹介することを考えて参ります。各位には引き続き民児連広報部会活動へのご協力を宜しくお願

い申し上げます。

参考資料

アンケート調査方法

Table with 2 columns: 調査項目, 内容. Rows include 調査対象, 調査方法, 調査対象の期間, 調査内容, 調査実施時期.

計画した事業(集計データ)

Table with 13 columns: 実施事業のみ, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月, 事業別計. Rows include 集い(会食等), 配食サービス, オレンジカフェ, 子育てサロン, 友愛訪問, いもっこ体操, フリフリグリップ体操, 高齢者サロン, 月別計.

生きがい訪問

● 第三地区 ●

中村 喜代子さん



一、友達や、遠く離れた子ども達、今ハビリで入院している夫とラインでやり取りする事。
一、図書館でお気に入りの作家の本を借りて読む。

年をとって幸せな事は、
◎キョウイク（今日行く所がある）と
◎キョウヨウ（今日やることがある）だそうです。

一、庭木の手入れや、小さな畑の草をむしったり、季節毎に咲く花を楽しんだりしている事。
一、そして40才から始めた趣味の三味線で弾いたり唄ったりする。（コロナの前はお仲間と楽しんだのですが）三味線の音色にいやされ、暗譜したり、力一杯歌ったりする事は認知症予防や健康にとっても良いと思っています。

一、川越温泉へ歩いて朝風呂に行く（往復二千歩）
一、お昼は冷蔵庫の残り物色々出して、よし、これで栄養はとれるなどビールで一杯やる事。
一、スーパーや、丸広で買い物する事。

こんな平凡な日常生活が私にとってはとても幸せで、一日中忙しいのです。
5月に入ると入院中の夫

が帰って来ます。夫は入院して初めて健康の有難さを実感したと言っております。これからの残りの人生を夫と二人でおだやかに普通に暮らせることを願っております。そして夫が入院する時、介護福祉の方たちが、とても親切に介護の手助けをして下さった事。とても有難く、感謝しております。

● 第五地区 ●

守谷 通文さん



パソコンです。タブレットではありません。タブレットを操るには歳をとりすぎました。一つひとつキーを押して、毎日パソコンを楽しんでいます。
まずはメール。学生時代の悪友たちによるメールグループに参加しています。名前は「華麗の会」。「加齢」とは違います。結成して10年以上になります。
当初は小旅行や懇親会の連絡が主な内容でしたが、近頃はすっかり様相が変わりました。ご多分に漏れず病の話です。

おかげ様で古稀を迎えることができました。しかし、稀だったのは古えのこと。地域では、まだまだ青二才の分際です。
とは言え、足腰の衰えは隠せません。おまけにやっかいな流行り病。どうしても家に留まりがちです。
そんな私の大切な友は、

代の先輩が運営するブログに、動きまわれる頃の旅の思い出を投稿しています。
撮りためておいた写真を見ながら、当時を思い出します。かなり無理なこともやってきました。「若気の至り」の怖さを今頃感じる始末です。
コンピューターは便利な代物です。でも未完のシステム。毎週のアップデートが欠かせません。人生も同じように思えます。自身のアップデートにも心がけて行きたいと思えます。



一、お昼は冷蔵庫の残り物色々出して、よし、これで栄養はとれるなどビールで一杯やる事。
一、スーパーや、丸広で買い物する事。
一、ご近所の人とお天気や体の不調自慢、病院の品定め等、どうでも良い話をする事。

こんな平凡な日常生活が私にとってはとても幸せで、一日中忙しいのです。
5月に入ると入院中の夫

そんな私の大切な友は、

「膝が痛い」「心臓がつかい」。そんな文句が踊るモニターをみながら、今日の健康に感謝する毎日です。
続いてはブログ。現役時

皆さん元気になっていますか、加藤
加藤 藤 氏 <kasoken@com.zaq.ne.jp>
2021/02/10 14:06 220の宛先へ送信済み。
名簿を送ります。何度も見直しをしたつもりですが、自分の「高貴君ありがとう」mailを mail と打ってしまったり・・・
; 確認して下さい。間違いは皆さんにお知らせ下さい。
; されたメルアドに送ったつもりですが、不安でもあります。
; ね。でも、
; けれども良いので当座に返信してくれると、安心です。メル
; アドメルアドのほうです。

地域の活動紹介

霞ヶ関北地区

中島眞利子

私達の地区は、東武東上線霞ヶ関駅周辺の東急ニュータウン、商店街を中心に角栄団地、30年ほど前にニュータウン伊勢原町が誕生し、環境の異なる3地域14自治会からなっています。民児協は27名で構成されています。

本年度も、新型コロナウイルス感染症状況の中での活動には制限がありました。幸いにも毎年実施している



友愛訪問で、冬時期はマスクを配布していましたのでコロナ感染前に個包装のマスクを多数購入していただきましたので、対象の高齢者の方々にマスクの配布をする事ができました。

市社協からは、感染予防対策として、早々に非接触型体温計を寄贈していただき、定例会・その他の活動にも大いに役立ちました。

自粛期間が続く中、高齢者のココロとカラダの健康がとても気になり「認知症予防・シニアカフェドリル」1060冊を社協の協力を頂き、チタンマスク、除菌スプレー等予防対策を充分行つて配布致しました。自粛期間中の脳トレは、お手紙を頂くなどとても喜んでいただきました。

「一人暮らし70歳以上の食事会」は三分割30名ずつで3回開催。

感染予防対策を充分行い指導者による軽い体操等を行いお弁当を持ち帰って頂きました。

コロナ禍と言う事だからこそ市社協、自治会、民児協が協力し合い地域の安心を見守る必要があると感じました。

山田地区

小澤恵美子

コロナ禍の
いもっこ体操会

昨年度は「府川元気会」

いもっこ体操会にとつても活動が大幅に縮小されました。内容を精選し、講演会・誕生会なども中止し、出席状況に応じた皆勤賞も廃し、無理なく参加してもらうようにしました。全員での体操は取りやめ二部制にして密を避ける工夫をし、会員同士のお元気確認の機

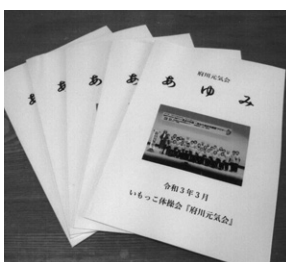


会としました。そしてこのコロナ禍によるピンチをチャンスととらえ「府川元気会」の今までの活動のまとめをすることにしました。平成25年12月からの活動計画、発表会やお出かけの思ひ出、体力測定の結果等を冊子にしました。又、ほぼ全員の方の声を載せることもできました。

一部を紹介しますと、「元気会の初めの頃は少し不安でした。時間が経つにつれ

慣れてきました。いろんな人の話を聞いたり、いろんな事を体験したり勉強になりました。ウエスタ川越でのいもっこ体操の発表会は最高でした。またもう一回やってみたいです。」

冊子発行に伴い費用の面では自治会から補助金をいただくことができました。完成した「あゆみ」の感想では次のようなものが寄せられました。「役員さん、皆さんのおかげで、本当に立派なあゆみの本ができ、今までの歩みが良くわかり、これからも元気で、皆さんとお会い出来たらよいと思いました。」今後はコロナの状況をみながら開催の検討をしていきたいと思えます。それまでは、皆さんが家で運動を継続していけるようにしたいと思っています。コロナの終息を願いつつ。



地区民児協だより

第八地区

羽石 明

第八地区は本庁管内の南部にあたる川越の玄関口である烏頭坂付近の岸町三自治会で構成されている。

世帯数4, 212世帯で総人口8, 914人、高齢化率23.6%です。

岸町熊野神社を中心とした三日月形をした地形をしている事から、例年3月には地域の平穏と五穀豊穡を祈願し神社で三日月祭りをを行います。

私達の地区は民生委員・



児童委員13名、主任児童委員2名で地区民児協を構成しています。

毎月第3金曜日、午後1時30分開催の地区民児協定例会は地区の中心にある岸町熊野神社事務所を使用させていただきます。

開催方法は輪番制で2名の委員が会場設営と司会を担当、「民生委員児童委員信条」唱和の後、連合会理事會決定事項の認識統一、関連資料の配布、部会・研修報告を行っています。

特に重要にしているのは情報交換やそれぞれが抱えている問題を共有し、一人で悩まないことを大切に

ています。社務所の設備は充実していますし、高台にある神社境内から東京スカイツリーも遠望出来ます。春には河津桜や染井吉野が咲き誇ってお花見に近隣住民・保育園の園児が集います。

例年であれば地区社協主催の三自治会合同お花見会を開催します。地区民児協も計画段階から参画に係わり地域交流の一助を担います。

また、新入生の交通祈願祭、本庁第八地域会議主催の小・中学生参加による節分豆まき、青少年を育てる地区会議の「あそびの国」など、高齢者から子ども達の交流親睦の場に連携させていた。各層の方々の手伝いをさせていた。いただきましたが、一昨年来のコロナ感染防止のため全て中止となりました。



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「福祉団体」をクリック

市民児連の「民児協だより」の名号をクリック

川越市社協

検索

主な市民児連活動予定

- 6月7日 理事会
- 7月5日 全員研修会
- 8月2日 理事会
- 8月30日 理事会

お詫びと訂正

「民児協だより」第82号のP3令和元年度の「活動記録」報告に記載されている分野別相談・支援件数の表に誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

(誤)
1人当たり件数/月
←
(正)
1人当たり件数/年

時の鐘

この「民児協だより」をご覧になる頃には、梅雨入りしているかもしれません。この一年、さまざまな思いで過ごされたのではないのでしょうか。

「民児協だより」第83号は、この一年間の活動の状況について、アンケートをとらせていただきました。ていねいに書いていただいたお答えは、胸が熱くなるものばかりでした。今までに経験したことのない困難の中で、工夫され、努力された皆様の思いが強く感じられたからです。その皆様の思いをできるだけ多くお伝えしたいと、編集を続けてまいりました。今年こそは、来年こそはより充実した活動ができますようにと願うばかりです。原稿をお寄せくださった皆様、アンケートにお答えいただいた皆様に心より御礼申し上げます。

第83号の編集担当は、榎原水妃・本田倫江・鈴木弘・藤崎榮一・石川明人・田中昇・岩崎恵子の七名です。

